



夏季研修会（あがらの夏）

みなべ・田辺・西牟婁地域の特別支援学級担当の先生、特別支援教育コーディネーターの先生、市町の教育委員会の方々、全員で40名弱の先生方に参加していただきました。

令和5年度に南紀支援学校とはまゆう支援学校の統合を迎え、南紀支援学校の新校舎の講堂を会場にして、両校の運営により開催いたしました。

南紀高等学校、田辺工業高等学校通級指導教室、はまゆう支援学校高等部の3校より「高校段階における特別な支援を必要とする子供の学びと育ちについて」話題提供をいただくとともに、「進路学習・進路選択における対人・コミュニケーション・自己理解の課題について」をテーマとして、小学校・中学校・教育委員会の先生方がグループに分かれて情報交換会を行いました。小学校・中学校・高校のそれぞれの段階で「つけておきたい力」を中心に話し合いました。特別な支援を必要とする子供自身が、自分の得意なところ苦手なところを含めて障害を受けとめ自己理解を深める力、そして自ら支援を求めていく力、また、自分にあった進路を自分の意思で決めていく力や社会力（社会性）、このような力を身につけることを大切にしたいと感じる研修となりました。



統合に係る保護者説明会



8月30日（火）、統合に係る南紀支援学校・はまゆう支援学校合同保護者説明会を南紀支援学校の講堂で行いました。教育委員会特別支援教育室より津村孝幸室長、道上里砂班長にも出席していただき、両校の保護者16名が出席していただきました。

始めに、南紀はまゆう支援学校（仮称）の基本コンセプトということで、学校教育目標、学校運営組織、新校舎の教室配置図、工事工程について説明をしました。その後、各校の学部主事より、統合校の教育課程、現在の取組について、子どもたちの活動している写真を交えて、説明を行い、最後に特別支援教育室の道上班長より、はまゆう支援学校跡地利用についての現状報告がありました。

保護者のみなさまは、大変熱心に聞いてくださり、説明会が終わってからも、新校舎での学習活動を楽しみにして、じっくり見学をしていました。

スヌーズレン研修会

8月25日（木）、自立活動部主催で、紀伊コスモス支援学校の藤澤先生による、スヌーズレンについての自主研修が行われました。南紀はまゆう支援学校（仮称）のスヌーズレン室を有意義に活用するために、スヌーズレンの理論や教育現場での実践について講演をしていただき、その後、実際にスヌーズレン室を体験しました。南紀支援学校の先生もオンラインで参加しました。

スヌーズレン室の体験では、実際にバブルチューブの光を感じたり、ウォーターベッドの揺れや振動を感じたりしました。先生方は、子どもたちの様子を思い浮かべて、スヌーズレン室を活用した授業を考えていました。

